

## 筑波大学グローバル医薬品・医療機器開発マネジメント講座を開催

つくば臨床医学研究開発機構

ビジネス科学研究科

筑波大学エクステンションプログラム事務局

筑波大学エクステンションプログラムの一環として「筑波大学グローバル医薬品・医療機器開発マネジメント講座」を、平成28年7月9日(土)、7月14日(木)、7月16日(土)、7月23日(土)に本学東京キャンパスで開催しました。本講座は、医薬品・医療機器におけるグローバル展開を見据えたイノベーションをマネジメントできる知識と技量を学ぶことを目的としました。受講生は26名、講師・チューター・ファシリテーターは12名でした。

講座の構成は、1回の特別基調講演と3日間の講義とグループワークからなっており、午前中に医療機器開発、グローバル展開の実例などの講義によるインプット、午後は、医薬品や医療機器の審査報告書等を活用してビジネス展開のためのプランニング等をグループディスカッションして深め、プレゼンテーションを通じたアウトプットと振り返りを行いました。「本講座をほかの人に薦めたいですか？」の問いに対し、87%の受講生が「そう思う」と回答してくださいました。

時代の環境変化が激しく、オープンイノベーションが重要視されています。本講座でも、医薬品・医療機器業界のみならず、大学関係、商社、ベンチャーキャピタル、独立行政法人、行政など多岐にわたる分野の参加者を得て活発かつ多様な議論から多くの気付きとつながりを得ました。受講生の間に同窓の会ができており、更なるネットワーキング構築が期待されるところです。

つくば臨床医学研究開発機構では、大学や附属病院とも連携しながら、臨床開発に関する教育や研修の機会を構築してまいりますので、ぜひご参加ください。

筑波大学エクステンションプログラムは、社会貢献の1つの形として、本学の高度で先駆的な研究・教育分野から得られた成果をいち早く社会に還元し、皆様に見える形でお届けすることを目的としています。他に例を見ない学際的な融合により、火花を散らしながら生み出された最先端の学問を、それを基盤とした社会還元を目的としたプログラムを通じて、直接感じていただければ幸いです。



特別基調講演



松村病院長からのあいさつ



グループワークの実践



グループワーク発表会